大阪城
2020 5/28 (木) 14073 号
全港湾 西成分会
2えわ 6647-4947

政府の宣言が全面解除されて、日常がかえってきているが、前とは同じではないようだ。

飲食の店では、客と客との間を広くとるようなイスの並べ方に変えたりしている。いろんなことが、コロナを意識して、みんな生き残るため、工夫して、自分をしらずしらず変革して生きているようだ。

大衆やお客さん相手の芸能人は、わりとはっきりコロナ以降、考えや行動を時代に合わせて、本人は、あまり自覚ないかもしれんが、わりと皆んなストレートなものの言い方になってきている感じがする。人間や社会が、じんわり大きく考え方や生き方が変わらざるをえないように小さな小さな、目にも見えないウィルスによって「なめとったら殺すぞ」みたいに、無言で近づかれて人間、考えはじめている時代だろうか。

電車も、冷房しながら、窓はあけて走ってるような、今までとは違う進み方している。今日、あしたではわからんが、社会が真底からじんわり変革されていく予感をさせている。

「新型コロナ宣言」解除から経済立て直し

仕事の回復いつからか？

新型コロナ対策。「緊急事態宣言」、今週国による全国全面解除となり、長く続いた外出自粛、営業の休業がようやく解除されて「人の動き」が始まってきましたが、それでもまだまだというながれもあり、経済復興への取り組みも恐る恐るということで、時間がかかりそうです。

日常に回帰する動きがはじまっていますが「新しい日常」とか「テレワーク」とかいう「働き方改革」の模索などといわれて、「もともとにもどる」とはならないのかともおもいます。

西成・センター界隈の仕事も「壊滅状態」から立ち直りにむけて。現場もそろそろ再開するようなんとか回復に向かってほしいと思います。ここだけの話でもないので本当に厳しそうですが。

10万円では焼け石に水！仕事の回復どうなる経済対策を早く！